

(2) 現場指導者養成研修の創設

林業事業体の現場指導者を対象に、安全で的確な伐木作業の理論や技術の習得と、新人や後輩への指導方法を習得するための現場指導者養成研修を実施するとともに、研修成果として事業体でのOJT指導が行われました。

① 現場指導者養成研修

県内で働く中堅林業従事者7人を対象に、Woodsman Workshop 代表社員の水野雅夫氏を講師に迎え、学科では指導者としての役割や責任、指導方法など学び、実技では技術習得のための10段階の手順を基に、伐倒練習機 (Felling Trainer MTW-001) を活用して、伐倒技術等の研修を8日間に分けて行いました。



傾斜に応じた安定したフォームの習得



伐倒方向を定めるための技術の習得



伐倒行動を10段階に分解し言葉に置き換える作業



発表会の様子

現場指導者養成研修修了時のアンケート (抜粋)

今後、何を意識して現場で指導しますか？

伐採作業時により正確な方向へ倒すことに重点を置いて指導していきたいです。新人には、一つ一つ分かり易く作業を教えて行きたいです。周囲の安全や姿勢、伐倒作業をする時のポジション等を確認し「教える」だけでなく、「考えさせる」、「一緒に考える」を意識します。技術と理屈を理解させ、自分で考えて仕事ができるように促していきます。同じことでも何度でも丁寧に説明します。自分を含めて災害をおこさないよう伝えたいです。何が危険かを考えさせ、理解してから作業をさせます。現場で新人が委縮しない環境を作ります。

講師への感想・要望

大変勉強になりました。こんなに本気になり、興味を持った研修は今までになかったもので、もっといろいろなことを教えてもらいたいです。今後も全国を回ってもらい林業の発展に貢献してもらいたいです。現場経験が豊富で講義以外にも現場の情報も得られました。これからの指導について、良いイメージも持つことができました。この研修を受けられて良かったと思いました。

② OJT指導

現場指導者養成研修の受講者7人が指導者となり、所属事業体の新規就業者等7人を対象として、現場研修のための伐倒作業指導シート兼チェックシートに基づき、実際の作業を段階ごとにチェックしながら、OJT指導を8日間行いました。

| 10Step チェックシート | | | | | |
|----------------|------------------------|--|--------------------------|---------------------------|--------------------------|
| 記入日: 年 月 日 | | | | | |
| OJT実施期間 | | 現場指導者名 | | 育成対象者名 (新人・後輩・同僚等) | |
| 年 月 日 | 年 月 日 | 所 属 | 所 属 | | |
| 年 月 日 | 年 月 日 | 氏 名 | 氏 名 | | |
| 区分 | 項目 | 内容 | 指導者の指示通りにできる | 指導者の監督下で実行できる (指示はしない) | 独自で実行できる |
| ステップ1 | ひたすらスライス | 水平にスライスし、スマホなどのアプリ(水準器)で傾きを確認する。ガイドバーの先下がりが(先上がり)角と進行方向への勾配角の合計値1°未満を目指す。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ステップ2 | 斜め切り水平フィニッシュ | 受け口の斜め切りを想定し、ガイドバーが見えなくなる程度まで切り込み、さしがねに装着する水準器で水平とのズレを認識させる。必ず「への字」になっていないか確認する。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ステップ3 | 水平出し入れ | 水平にガイドバーがかくれる程度に切り込む。立ち位置は変えず、チェーンブレイキをかけエンジンを止めてガイドバーを引き抜く。抜いたらエンジンを止めたまま再び切り込みに入れ、出し入れを繰り返す。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ステップ4 | 斜め出し入れ | 受け口の斜め切りを想定し、ガイドバーが幹に隠れる程度まで切り込み、「Step3水平出し入れ」と同様にガイドバーを数回出し入れする。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ステップ5 | どこまで? ここまで! (水平) | 指導者が指定した深さ(例えば3cmとか10cm)まで水平に切り込ませ、その深さをさしがねで測定する。ゲーム感覚でやってみる。人の癖や傾向(切りすぎ・切らなすぎ)を確認する。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ステップ6 | どこまで? ここまで! (斜め) | Step5と同様の練習を斜め切りで行う。指導者が指定した深さに切り込ませる。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ステップ7 | 目安線をつくる | 外樹皮を削ぐくらいイメージで伐根直径の1/8程度の深さに大きな角度で浅い受け口を作る。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ステップ8 | 狙いを定める | 目安線を作れるようになったら、狙いを定める。目安線にさしがねを当て、目標のズレを目標させ、直角に狙いが定まるまで修正を繰り返す。伐倒側と目標側の両方から目視で確認する。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ステップ9 | 折れ曲がり線を作る | 狙いを定める過程はStep8と同じ。ツルの長さが伐根直径の80~94%になる範囲内を条件とする。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ステップ10 | 適切なツルを作る | 追い口を折れ曲がり線に対して平行に切り進め、正確なツルを作る。ツルの高さや幅は、同じにそろえる。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |



指導状況 (粟野森林組合)



指導状況 (那須町森林組合)



指導状況 (旬阿久津林友)

実践研修修了後のアンケート (抜粋)

指導する前と後でどのように変わりましたか?

普段の業務の時も伐倒作業において動作の再確認を行うようになりました。自分自身も日々勉強しなくてはならないと思いました。自分の作業が変わりました。手本になるようにと思うようになりました。指導の基本ができていないので、もっと指導の技術を磨きたいと思うようになりました。教え方や伝え方をもっと工夫した方が良いと思いました。人に伝える難しさを再認識しました。自分の技術をもっと向上させたいと感じました。